

ふるさと通信

あいほ

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp>

令和5年4月

N0.61

有帆地域交流センター発行
TEL 84-4090(FAX同)



真剣勝負！

有帆カローリング大会



中学生チームも真剣



皆さん心配そう



勝者はどちら？

2月26日、三年ぶりとなる有帆カローリング大会を開催しました。中学生チームと合わせ、参加者48人、16チームが予選リーグを戦い、その後決勝トーナメントを行いました。久しぶりの大会で、最初はなかなかうまくいきませんでした。投球を重ねると

に熱が入りエキサイトしていきました。幅広い年齢層の参加者で、いつのまにか勝敗を忘れ、楽しく交流する場となりました。

結果はチーム「仁保号」が優勝しました。おめでとうございます。皆さん大変お疲れさまでした。(有帆ふるさとづくり協議会 田中照男)

♡おいでませ交流センター♡

令和4年度の全ての主催講座が無事に終了しました。一年間を通して多くの方に参加していただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。地域交流センターに移行し2年目を迎えますが、今年度もたくさんの皆さんとのふれあいを大切に、楽しい交流センターづくりを目指します。応援よろしく申し上げます♪

ぶち！楽しかった 山口弁よもやま話!!



熱い思いで語られる!!森川先生

2月14日の知って得する講座は「山口弁よもやま話」ということで、山口弁研究家の森川信夫先生をお迎えして、山口弁のことばの使い方や方言の歴史について学習しました。【しあわせる】【いぬる】【ねつい】【かぶる】など多くの山口弁の使い方の説明があり、方言は、中央（都）から地方に人の口から口へと伝えられたもので、ことばは常に変化する生き物ですと言われていました。受講者の皆さんからは、「何気なく使っている言葉も歴史があることに、びっくりしました」「お話がおもしろく、あっという間に時間が経ちましたよ」との感想でした。

森川先生ありがとうございました😊

心も身体もリフレッシュ！楽しく「親子ふれあいヨガ教室」♪



藤本由貴先生と
アシスタントの咲陽ちゃん

3月4日、18日に開催した「親子ふれあいヨガ教室」では、ヨガインストラクターの藤本由貴さん、アシスタントの咲陽（さよ）ちゃんに、ヨガの基本から身体が元気になる集中力アップのポーズを教えていただきました。

ヨガは脳の活性化に効果があると話され、皆さん一生懸命取り組んでいらっしゃいました。終了後、受講者の皆さんは「ヨガの効果がきたのか、柔軟性がまし、心地良い気持ちになりました」と話されていました♡



身体の柔軟性は、バッチリ

大奮闘!! コツを学ぶ「魚のさばき方教室」🔪



飯の三枚おろしに頑張る皆さん

3月12日、「魚のさばき方教室」を開催しました。講師の磯村軍治さんの巧みな包丁さばきに皆さん感動され、鯛、飯（はまち）、鰹、レンコ鯛を三枚おろしや開きに悪戦苦闘しながら挑戦、大変勉強になる講座でした。

是非、家でも魚をさばいてみてはどうでしょうか。皆さんお疲れ様でした♪

ホームページには講座の様子や受講生募集の情報、過去に発行した広報紙の紙面等を掲載しております。ぜひご覧ください♪

HPIはコチラから▶▶▶



知っちよる有帆

いにしへの道しるべ、有帆一里塚(中村)

有帆中村に、市道梅田線の別府八幡宮入口から少し進んだところに有帆一里塚があります。

一里塚は一里山ともいわれ、江戸時代の初め、徳川家康が江戸日本橋を起点に、五街道や山陽道など本往還の一里ごとに盛土の山を造り里標を立てたことに由来します。盛土は多く石垣で囲み、中央に榎を植えたそうです。里標には、江戸日本橋より何里などと記されていました。

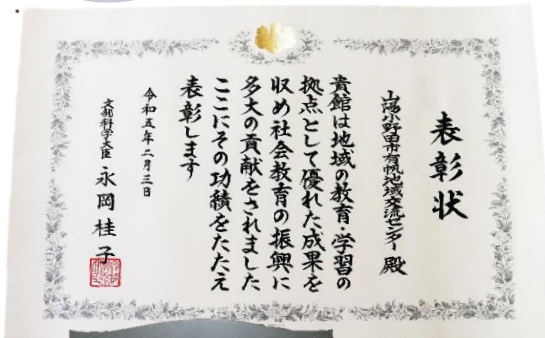
萩藩では山陽道以外の道にもこれにならって、萩城下唐樋(札場)に原標を置き、藩主の参勤や国廻りの主要な道路、あるいは主な港などへの枝道に一里塚を作りました。本往還のようなものではなく、時には庚申塚(こうしんづか)のようなものを利用することもありました。

有帆一里塚は、現在地蔵尊と並ぶ「庚申塚」ですが、もとは少し西の船木へ行く旧道の四辻にありました。萩唐樋札場まで拾参里、刈谷浦まで式里式拾参丁と記されていましたが、移動するときに庚申と刻みかえたと伝えられています。(参考文献：今、ふりかえる小野田)



有帆一里塚

祝 全国優良公民館表彰 受賞 ☆



2月3日、文部科学省において、有帆地域交流センターが第75回全国優良公民館表彰を受賞しました。優良公民館表彰は、公民館やその他公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものに対し贈られるものです。

当地域交流センターは、生涯学習をはじめ地域づくりの拠点として多くの地域の皆さんの参画により、地域づくりが進められていることが高く評価されたと思います。今後も「人と人のつながりやふれあいの場」として、引き続き地域づくりの拠点として、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進していきます。

災害に強く!! 合同防災研修会開催

1月29日、有帆セーフティーネットワークと有帆地区自治会協議会による合同防災研修会が開催されました。まず最初に高橋茂則防災士から「率先避難・呼びかけ避難体制づくりの進め方」と題して避難のポイント、避難体制づくりなどの話があり、次に田村重人防災士から災害伝言ダイヤルについての説明がありました。最後に、ワークショップ形式で各自治会周辺や避難時の危険箇所を話し合い、再確認をされました。

参加された皆さんは、真剣に取り組み大変有意義な研修会となりました。「地域を知る」「人を知る」「共通認識を持つ」ことの大切さを痛感しました。



災害伝言ダイヤルの説明(田村防災士)



行事予定

【4月～6月】

1,693世帯 人口 3,571人
男 1,724人 女 1,847人
(3月1日現在)

5月

- 9日(火) 知って得する講座(ウン知育教室とおなかの菌学)
- 12日(金) 男性料理教室
- 14日(日) 有帆市まつり
- 30日(火) 歴史探訪講座(古地図を片手にまちを歩こう・厚狭北部)



6月



- 2日(金) ガーデニング教室・春
- 6日(火) 子育て応援カフェ(わいわい子育てトーク)
- 9日(金) 男性料理教室
- 10日(土) ホタルまつり
- 13日(火) 知って得する講座(大切な人を守るための防災)
- 23日(金) 歴史探訪講座(古地図を片手にまちを歩こう・館外学習)
- 27日(火) 地中海料理教室

感謝のつどいin小学校



小学校にて全員集合

3月8日、有帆小学校において地域ボランティア皆さんの一年間の活動に感謝をこめた「感謝のつどい」が行われました。

各学年から今年度学んだことや感謝の言葉の発表が行われ、児童の皆さんからは、「安心して勉強ができるのは、地域の皆さんのお陰でこれからも有帆小学校の応援をよろしくお願いします」と元気一杯に感謝の気持ちを発表されました。

防災豆知識 ①



懐中電灯に一工夫「簡易ランタン」の作り方!!

災害で電気やガスが止まってしまい暗くなった時に使える、懐中電灯を利用した簡易ランタンの作り方を紹介します。


- ①空のペットボトルを懐中電灯より5cmほど高い位置で切ります。
 - ②懐中電灯を切ったペットボトルに立てて入れ、水を入れた別のペットボトルを上から重ねます。
- Ⓢ大地震直後にロウソクは使用しないでください!!**



♡ あいほ ♡ ふるさと絆ルー

①私の信念又は好きな言葉 ②地域への思い ③次にリレーする人へ一言

61 堀 こずえ(こずえちゃん)




① **毎日楽しく！
なんとかなるさ!!**

②有帆に住んで7年。有帆、子供達を盛り上げる為、地域の方々みんなが、がんばっているのがすごい!!一緒に楽しく活動させてもらっています。

③家族でお世話になっています。いつも元気な森本家！大好きです！

梅田の「こうちゃん」さんにバトンタッチ

62 森本 耕平(こうちゃん)




① **明日は明日の
風が吹く**

②生まれも育ちも有帆です。最近は新しいお店等も出来て、活気が出て嬉しい限りです。今年祭りは花火など、ますます有帆を盛り上げて行きましょう！

③これからの有帆・梅田をよろしくお願いします。

梅田の「けんた」さんにバトンタッチ

63 酒井 健太(けんた)



① **日々努力**

②まだ引っ越してきて浅いのですが、有帆は自然豊かで皆さん優しく、住みやすそうなところだなと思っています。

③いろいろ教えてくれてありがとうございます！これからも親子共々宜しくお願いします!!

⇒ 次号、共和町の仁保裕美さんに続く